

教員組織の編成方針

本学は開学以来「学術的な研究による知識、実務で求められる技能、さらに高い職業倫理観を備えた高度会計専門職業人を養成する」という理念のもとそれを実現すべく教員の編成を行ってきた。

具体的には学術的な研究により得られた知見を教育課程に反映させることを意識して研究者教員を、実務で求められる技能を教育内容に反映させることを意識して実務家教員をそれぞれバランスよく配置してきた。それに加えて理論と実務の架け橋となる教育機関を目指すという意識を研究者教員、実務家教員の間で共有しており、この理念を共有できる人材により教員組織を編成してきた。今後もこの方針を継続して学位授与方針、教育課程の編成方針の実現を目指していく。

一方で、社会のニーズが多様化していく中で教員組織においてもそのニーズに応えられるよう多様性を確保していくことで教員組織の充実を目指す。